

## 福岡県 防災士養成研修・試験 ≪受講者募集≫

福岡県では、近年、災害が頻発しています。災害による被害を最小限に抑えるためには、地域ぐるみで防災体制を確立していくことが重要です。その中心的な役割を担うのが、地域の自主防災組織です。

自主防災組織では、日頃から地域レベルで、防災意識の普及・啓発、災害時の避難誘導などの防災活動を行っています。

県では、自主防災組織の活動に参加するリーダーを防災士として養成するため、「福岡県防災士養成研修・試験」を開催します。

自主防災組織の活動に参加する意思のある方で、防災士の資格取得を目指す福岡県民の方は、本養成研修・試験をお申し込みください。

### <開講日・開講場所>

- |          |  |                      |
|----------|--|----------------------|
| ○筑後ブロック  | 定員150名                                     | 令和8年10月17日(土)・18日(日) |
|          | 三潁生涯学習センター 多目的集会室<br>(久留米市三潁町玉満 2949 番地 1) |                      |
| ○福岡ブロック② | 定員150名                                     | 令和8年11月26日(木)・17日(金) |
|          | 福岡県庁 3階講堂<br>(福岡市博多区東公園 7-7)               |                      |

### <受講対象者>

以下の(1)～(3)のすべての要件を満たす方。

- (1) 福岡県内に居住する福岡県民で、居住地域の自主防災組織の活動に参加する意思のある方、かつ自主防災組織のリーダーとして活動が可能と見込まれるため、居住する市町村から推薦を受けた方。
- (2) 受講決定後、本養成研修・試験の受講日までに、消防署等が実施する救命講習を修了し、防災士教本及び履修確認レポートを自主学习して履修確認レポートの提出用紙を本養成研修・試験の受講日に提出できること。また、本養成研修の全講目を受講し、防災士試験を受験すること。試験合格後はNPO法人日本防災士機構に認証登録を行い防災士となること。上記の全てを行える方。
- (3) 受講申込書に記載の「申込にあたっての確認事項」の全9項目に同意頂ける方。

上記要件を満たした場合でも、受講希望者が多数の場合は受講できないことがあります。また、県による受講決定を受けていない方は受講できません。

## <申込方法>

- ・うきは市役所 市民協働推進課（消防防災係）に別紙の受講申込書をご記入のうえご提出ください。
- ・お住まいのブロック（筑後）での受講となります。なお、お住まいのブロックにかかわらず、平日の受講を希望される方は、福岡ブロック②を希望できます。ブロックが不明の場合は市民協働推進課（消防防災係）にご確認ください。
- ・受講の可否は、9月中旬までにご案内します。
- ・受講決定後は、お住まいの消防署に受講者ご自身で連絡のうえ、防災士資格の取得に必要な普通救命講習Ⅰ等の救急救命講習を受講してください。

## <費用>

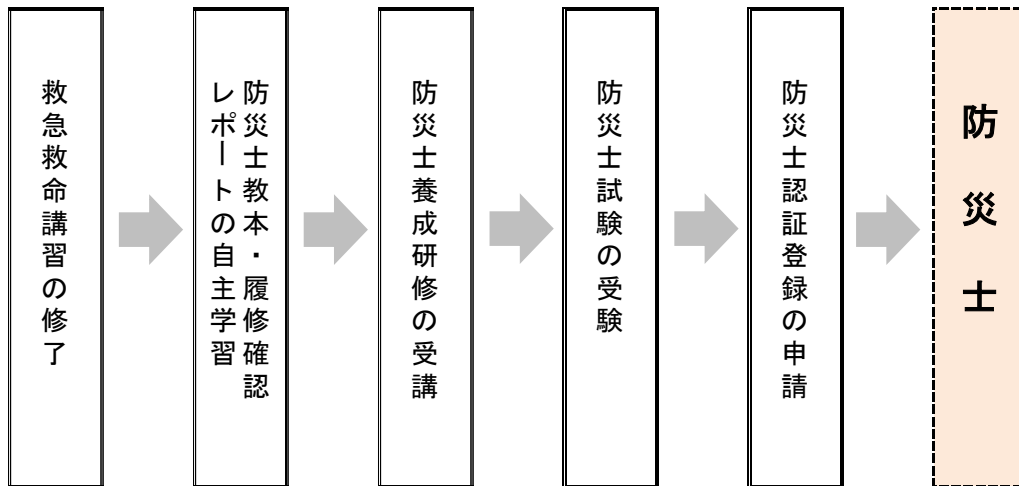
- ・教本代（4,000円）、受験料（3,000円）、認証登録料（5,000円）の計12,000円は受講者のご負担となります。受講決定後に教本代と受験料の納付が必要です。また、試験合格後に認証登録料の納付が必要です。

**うきは市においては、費用の助成制度がありますので、申請の際にお尋ねください。**

**\* 機構に納付された上記料金は災害等特別の事情が無い限り返金されません。**

- ・認証登録に必要なカラー証明写真代（縦3.0cm×横2.5cmの2枚）、救急救命講習の修了証のコピー代、交通費や宿泊費、昼食費等の個人にかかる費用については受講者のご負担となります。

## <防災士になるまでのフロー>



- \* 「救急救命講習の修了」と「履修確認レポートの自主学習」は実施順序に影響はなく、いずれも防災士養成研修・試験の受講日までに各自で完了してください。
- \* 「防災士養成研修の受講」と「防災士試験の受験」は、連続2日間の間に同会場を受講・受験します。研修のみの受講及び受講決定を受けていない方は受講はできません。

### <防災士とは>

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、NPO法人日本防災士機構が認証した人。

### <防災士の活動例>

- 平常時
  - ・自主防災組織の組織化、地域における防災知識の普及・啓発、各家庭での防災備蓄・減災対策の呼びかけ、地域の危険箇所の確認、防災訓練への参加・実施 等
- 災害発生時
  - ・高齢者等の避難支援、初期消火活動、負傷者の救出活動、避難所の運営 等

# 福岡県 防災士養成研修・試験 (カリキュラム例)

開場・受付開始 8:30～（筑後ブロックのみ 9:00～）

1日目			2日目		
土曜日			日曜日		
	9:00～ 9:05	1日目開講		9:00～ 9:05	2日目開講
1限目	9:05～ 10:05	土砂災害	8限目	9:05～ 10:05	行政の災害対策と 危機管理
2限目	10:10～ 11:10	近年の主な自然災害	9限目	10:10～ 11:10	防災士が行う各種訓練 (演習含む)
3限目	11:15～ 12:15	広域・大規模火災	10限目	11:15～ 12:15	地域防災と多様性への 配慮 (演習含む)
	12:15～ 13:00	お昼休憩		12:15～ 13:00	お昼休憩
4限目	13:00～ 14:00	地震・津波への備え	11限目	13:00～ 14:00	自主防災活動と 地区防災計画
5限目	14:05～ 15:05	風水害・土砂災害等への備え	12限目	14:05～ 15:05	防災士に期待される活動
6限目	15:10～ 16:10	災害と損害保険	13限目	15:10～ 16:10	避難所の設置と運営協力
7限目	16:15～ 17:15	災害ボランティア活動		16:15～ 16:20	2日目閉講
	17:15～ 17:20	1日目閉講		16:25～ 17:25	防災士試験

- \* 上記のカリキュラムは実施例です。災害の発生等により、講義内容、講義数、開始・終了時間、実施会場等が変更になることがあります。
- \* 災害の発生等により、開催を中止することがあります。
- \* 本研修で実施する講義は、試験対策ではありません。防災士となり自主防災組織等の地域で活動していくうえで必要と考えられること等を各専門家から講義いただきます。2日目の最終に防災士資格試験を実施しますが、試験対策は事前に配布する防災士教本を使用し、各自で事前学習にしっかり取り組んでいただく必要があります。
- \* 研修開始後の途中入室は、お断りさせていただくことがありますので、あらかじめ御了承ください。

# 令和8年度福岡県 防災士養成研修・試験

## 受講申込書

受付日時（市町村記入欄）

令和8年 月 日 時 分

【申込先】 うきは市役所市民協働推進課 消防防災係

TEL : 75-4982 FAX : 75-5509

【申込の締切】 令和8年 7月 17日（金）

### 〈防災士養成研修・試験〉

ブロック	開催日	会場	住所
筑後	令和8年10月17日（土）～ 18日（日）	三潁生涯学習センター 多目的集会室	久留米市三潁町玉満 2949 番地 1
福岡②	令和8年11月26日（木）～ 27日（金）	福岡県庁 3階講堂	福岡市博多区東公園 7-7

\* お住まいのブロック又は福岡②（平日開催）を選択できます。なお、福岡②（平日開催）の受講希望者が多数の場合、お住まいのブロックでの受講を案内する場合があります。

### 〈申込にあたっての確認事項〉

\* 必ずご一読のうえ全てに同意いただける場合は、申込者本人で、□に✓を記入のうえお申込みください。

私は、

- 福岡県内に居住し、居住地域における自主防災組織の防災活動に参加する意思があります。
- 養成研修・試験の受講日までに防災士教本及び履修確認レポートにて自主学習し、研修1日目に履修確認レポートの提出用紙を記入のうえ提出すること、養成研修は全講目を受講すること、防災士試験を受験すること、試験合格後は防災士認証登録に関する手続きを全て行い、また、試験に不合格となった場合も、再度他会場で試験を受けることに承諾します。
- 養成研修・試験の受講日までに、日本防災士機構が防災士認証要件として認める救急救命講習（別紙2）を受講し修了します。ただし、やむを得ない理由等で養成研修・試験受講日までに救命講習を修了できない場合は、養成研修・試験を受講後ただちに救命講習を修了します。もしくは、過去5年以内に別紙2に記載の救急救命講習を受講し修了証を所持しています。
- 記載した個人情報には県や居住する市町村が防災士に関する名簿を作成し、養成研修・試験の受講に関する手続きのほか、研修・訓練・シンポジウム等の防災に関する取組みの開催情報をお知らせする場合やその実施に関するご協力をお願いする場合に利用することに同意します。 **\*裏面に続きます。**
- 防災士資格取得後の活動状況や活動予定について県へ報告することに同意します。
- 養成研修・試験は、災害が発生した場合や、受講希望者が少ない等日本防災士機構の定める開催条件に満たない場合等は、開催が延期・中止となることに同意します。
- 受講申込書は、受講を決定するものではないことを理解し、受講希望者が多数の場合は、他会場や次年度以降の受講となる可能性があることに同意します。
- 日本防災士機構に納付した教本代、受験料、防災士認証登録料は災害等特別の事情が無い限り返金されないことを承諾します。

別紙3のとおり、日本防災士機構の定める「個人情報の取扱いについて」の内容を理解し、同意します。

## <受講申込者について>

ふりがな 氏 名	男 ・ 女 ・ 回答しない
生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成 年 月 日
ご住所	〒 _____ 市 福岡県 _____ 町 _____ 村 電話番号 _____ FAX 番号 _____ Eメール（必須） _____
所属団体	例：「〇〇自治会自主防災組織」、「◆◆町内会」、「◎◎自治会」、「▲▲地区消防団」等
お住まいの地域の 自主防災組織名	例：「◎◎自主防災組織」、「〇〇自主防災会」、「自主防災組織は未設立」等
特例制度の希望	自衛官・警察官・消防吏員・消防団員（分団長以上） ※ 対象となる階級等詳細は日本防災士機構HPをご確認ください。 該当するものに○をつけてください。
受講希望ブロック ※平日開催（福岡ブロック ②）を希望される方のみ記入 してください。	（筑後ブロックで受講する方は記載不要） <input type="checkbox"/> 福岡ブロック② 受講希望する場合は□に✓を記入してください。
備考	

- \* 本研修・試験が災害等により突発的に中止・延期となる場合は、ご記入いただいたEメールに連絡する予定です。必ずメールアドレスの記入をお願いします。
- \* 履修確認レポートや防災士教本等は、記載いただいたご住所にお送りするか、市町村窓口で配布させていただく予定ですので、ご住所は正確に記入してください。

日本防災士機構が防災士認証要件として認めている主な救急救命講習等一覧

普通救命講習Ⅰと同等のもの。

(心肺蘇生法とAEDを含む。防災士認証登録申請時に、5年以内に発行されたものであり、発行団体が定めた有効期限内の修了証)

講習実施機関・所管等	講習・資格名	備考
消防本部	普通救命講習ⅠまたはⅡ	「市民救命士」等の名称による同講習も含まれる
	上級救命講習	
	応急手当普及員/指導員講習	
	消防吏員	消防吏員の階級証等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	患者等搬送乗務員基礎講習	
都道府県公安委員会	第一種運転免許 (応急救護処置講習)	新規取得後5年以内限定 (取得後5年を超過したものは対象外) ※指定自動車教習所の卒業証明書も同様の取扱いとする。
	第二種運転免許 (応急救護処置講習)	
厚生労働省	医師	医師の資格の証書等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	救急救命士	救急救命士の資格の証書等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	酸素欠乏危険作業主任者技能講習	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	
国土交通省	小型船舶操縦士 (一級～二級、特殊)	取得後5年以内限定。別途、特定操縦免許の「小型旅客安全講習」の受講が必要 (取得後5年を超過したものの、及び前記安全講習の受講時期が判別不能なものは対象外。この場合、免許の更新記録ではなく、前記安全講習修了証、または他の救急救命講習修了証の写しの提出が必要)
	海技士	
日本赤十字社	救急法基礎講習 (赤十字ベーシックライフサポーター認定証)	
	救急法救急員養成講習	検定合格者に認定証交付
	救急法指導員養成講習	指導員認定証交付
	水上安全法指導員養成講習	指導員認定証交付
	幼児安全法指導員養成講習	指導員認定証交付
	救急法短期講習 (心肺蘇生、AEDを3時間以上含むもの)	カリキュラムの内容や時間数を確認する資料提出が必要
	J-MELS (母体救命)	
日本ACLS協会	ハートセイバー ファーストエイド CPR AED コース (G2020)	
	BLSプロバイダーコース (G2020)	
	ACLSプロバイダーコース (G2020)	
国際救命救急協会	CPR (心肺蘇生法) BASIC+AEDセミナー	
	AHA BLSプロバイダーコース	
MFA JAPAN	ベーシックプラス	
	ケアプラス【成人+小児又は乳児 / 全年齢対象 (成人+小児+乳児)】	
	チャイルドケアプラス【全年齢対象 (小児+乳児+成人)】	
日本救急医学会/JPTC協議会	JPTCプロバイダーコース	
	JPTCインストラクターコース	
	IGLSコース	
エマージェンシーファーストレスポンス	エマージェンシーファーストレスポンス (EFR) 「一次ケア二次ケア」コース	
大阪ライフサポート協会	AHA BLSコース	
	AHA ACLSコース	
	AHA BLSインストラクターコース	
	AHA ACLSインストラクターコース	
	市民向けコース (試験あり/試験なし)	
指導者養成コース		
日本光電工業株式会社	心肺蘇生+AED講習会 (基本180分修了証付コース)	
日本ファーストエイドソサエティ	実践! CPR&AED研修	
	MFAベーシックプラス	
	MFAケアプラス【成人+小児又は乳児 / 全年齢対象 (成人+小児+乳児)】	
	MFAチャイルドケアプラス【全年齢対象 (小児+乳児+成人)】	
	AHA BLSプロバイダーコース	
	AHA ACLSプロバイダーコース	
L.S.F.A. (Life Supporting First Aid)	Basic Skillsコース	CPR&AED認定コースを含む各コースが対象
	Safety Providerコース	
	Instructorコース	アシスタントインストラクター、インストラクター等の各指導者コースが対象
Wilderness Medical Associates Japan	WFA ベーシックレベル	
	WFA アドバンスレベル	
	WFR プロフェッショナルレベル	
	WALS 医師レベル	
WEMT 救命士レベル		
日本体育施設協会 スポーツ救急手当	プロバイダーコース	
	インストラクターコース	
日本ライフセービング協会	BLS (CPR+AED) コース	BLS (CPR+AED) コースを含む各コースが対象
PADI	レスキューダイバー	
セーバー風ジャパン	一次救命措置講習	
マリンスポーツ財団	ファーストレスポンスコース	

# 個人情報取扱いについて

日本防災士機構（以下、当機構）における個人情報の取扱いは、以下の通りといたしておりますので、防災士資格取得の際には、以下の内容をよくお読みいただき、その内容について予めご了解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、防災士資格取得（認証登録申請）をもって、この「個人情報取扱いについて」の内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

- 1 当機構は、当機構が取扱う個人情報について適法かつ適正な方法で取得します。
- 2 当機構は、当機構が取扱う個人情報について事業遂行上必要な範囲を超えて利用することはありません。
- 3 当機構は、個人情報保護管理者を置き、個人情報の漏えい、滅失又はき損が生じることのないよう適切に管理します。
- 4 当機構は、ご本人から保有個人データについて開示、内容の訂正、追加若しくは削除、又は利用の停止等の申し出があったときは、法令に定める場合を除き速やかに対応します。
- 5 当機構は、国、地方公共団体又は特定非営利活動法人日本防災士会から要請があり、それが防災士制度の目的に適うと認められる場合、保有個人データを提供することがあります。  
※国や地方公共団体から防災士に対して、地域の防災協力（任意）を求められる場合があります。  
※上記の日本防災士会は、防災士有志により 2004 年に設立された全国組織です。
- 6 当機構は、個人情報の相談及び苦情の窓口を設置し、ご本人からの個人情報に関するお問い合わせや苦情に対して、適切かつ迅速に対応します。